

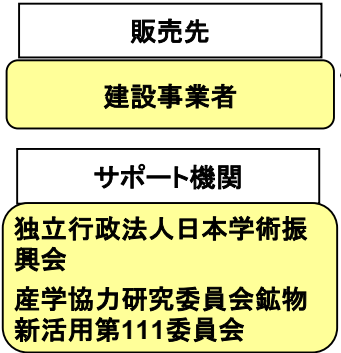
地域	愛知県名古屋市	認定日	平成30年6月8日	4-30-219
事業分類	サービス	テーマ分類	環境	

**事業名:IoT技術を活用した新たな建設汚泥処理サービス事業**

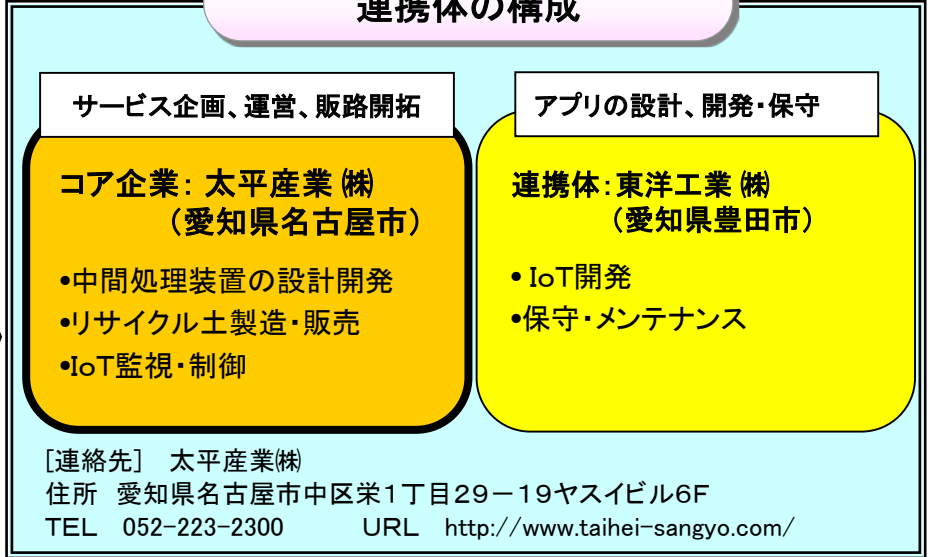
**○事業概要(新規性、市場性等)**

- 本連携事業は、インフラ建設事業者等に対し、開発で排出される自然由来の有害物質を含む建設汚泥(岩石などに含まれている鉛、カドミウム等が溶存した建設汚泥)を、適切かつ迅速、安価に処理するサービスを提供するものである。
- 山岳地帯、大深度地下での建設現場から排出される建設汚泥の中には、自然由来の有害物質が高く溶出されているケースが多い。現状では、こういった建設汚泥を引き取る事業者は少なく、あっても高額な取引価格を提示されるため、建設コストを高める要因になっている。
- そこで本連携事業では、この課題に対し、IoT技術を活用して従来以上に効率的に有害物質を除去する仕組みを構築し、ユーザーの処理費用低減化を図るサービスを展開する。
- 具体的には、どこの現場から、いつ、どれだけの量が持ち込まれるかを事前に把握し、処理施設に到着した汚泥を、順次、処理方法の判定アルゴリズムを用いた簡易分析を行い、その結果から、特殊浄化システム(一次処理)で処理するもの、通常処理にまわすもの等を判断する。その後、工程内の処理状況を常時監視(成分濃度、薬剤投入量等)することで、汚泥処理の生産性向上を図る。一連の処理作業を効率化することで取引価格の低価格化を実現する。

**事業推進体制**



**連携体の構成**



**【本事業の流れ】**

